



## 【世界最強、最愛の宝くじ王国によろこそ！！】

《宝くじ王国は、皆様が主役の国際福利、平和・娯楽国家です》

宝くじ王国の《ユニット宝くじシステムとは？》

### 総合案内

**当たらない=つまらない！** から、**絶対に何か当たる面白いシステムに！**

しかも、世界人類、社会・文化、自然環境、健康、教育そして経済まで幅広く支援！！

<例えば、難病・小児移植等を全面サポートするシステムを構築>

<あくまでも楽しみながら、素晴らしい人間社会を構築するのが、この宝くじ王国の主眼をなすコンセプトなのです>

ご挨拶

この度、「株式会社：日本公益宝くじ促進支援協会・宝くじ王国」では、宝くじの本来の「公益性社会福利性を最大限に発揮」して、その当初の目的のため、より多くの人々  
がその根本理念を理解し、日本ばかりでなく世界中の人々が平和裏に与えられた人生を多  
いに享受していただけるよう、また、より多くの参加者が、まんべんなく楽しめるように  
システムを刷新いたしました。

### 【日本の宝くじで世界の人々にも貢献しましょう】

現在のポイントの時代、そのポイントシステムも活用していただき、日本の小事業者の皆様のお手伝いをさせて頂いたり、日本の宝くじではありますが、日本ばかりでなく世界中の、文化、社会、教育、医療、健康、環境問題、その他エネルギーや、農業、食料問題等々幅広い支援の手を広げることができればどんなにか素晴らしいものになるかと考え、本宝くじ王国ユニットシステムを皆様に提供させていただくことといたしました。

### 【現在の宝くじは、一等賞金のみを巨大にして“ちっとも当たらない=つまらない！”】

現在残念ながら日本の宝くじの売り上げは、その思いとは裏腹に年々低下傾向にあります。それはきつい言い方かもしれませんが、高額当選金をあたかも馬の前に人参をぶら下げるかのようにぶら下げる戦略に終始して、本来の社会貢献のための宝くじが人々に伝わっていないことにあると考えます。また、これは当然の話ですが、いくら高額当選金で人々の射幸心をあおったとして、その当人たちが、何年も何年も小さな当選金も手にできなかったなら、それは、いつしか、その射幸心ですら萎えてしまうのは至極当然の帰結であると考えます。

つまり、「当たらない=つまらない！」が、日本中にまん延してきているのではないかと考えます。

### 【日本の宝くじ愛好家は世界人類を考える博愛主義者になりたい！】

さて、日本の宝くじの現状は上のように残念な結果となっていますが、私ども、宝くじ王国主催者といたしましては、『宝くじを購入をする人は、世界人類を考えている人である！』と、そういった、**《人間愛を基底に宝くじを、みんなが出し合って、みんなで楽しみ、みんなのために、そのお金を使ってもらおう》**そんな社会事業（=下記ご参照ください！）としての宝くじにしたいと考えております、皆様のご愛顧ご支援を心よりお願い申し上げます。

### 【本システムの大きな特徴は、【宝くじ王国基金】を立ち上げ幅広い社会支援を実践!!】

\*：私どもは、皆さまに、心より楽しめる、楽しみいっぱいの宝くじを提供することは当然ですが、その一方であくまでも、社会貢献のために構築された宝くじシステムを、より、幅広く、日本ばかりでなく、世界の人々が直面する諸問題にも切り込んで活用できるように、したいと考え次のような、基金を立ち上げさせていただくことといたしました。

#### 《各種基金の創設》

世界自然環境保全基金、自然エネルギー開発基金、介護高齢支援基金、子供難病移植基金、白血病等医療基金、教育研究基金、世界食糧基金、総合科学研究基金、地域文化文芸スポーツ支援基金、その他国際的な人道支援活動等

\*：当該基金は、下記の通り、皆様の宝くじの末等を原資とさせていただいております。

### 【ユニット宝くじシステムとは？】

1等はこの中に、必ず一つは入っている。その数を1ユニットといい、年末ジャンボを除いては、その単位は10,000,000枚です。この中に必ず1等から～7等（末等）（『参照資料 No1』）までの、当選金が入っていることとなります。逆を言えばこの単位が先にあり、その中に1等～6等をどのように配置したらよいかを逆算したともいえるのです。

下に1ユニット中に含まれる、等級数とその等級別の当選金、また、当該等級数ごとの受

益者の数を表示することにします。また、次に、それと比較していただくために『本宝くじ王国のユニットシステム』であるなら「どれくらいの人」「同じ当選金をどれくらいの等級数で」「どれくらい分配することができるか」を、表示し（〔参照資料 No2〕参照）、いかに、当【ユニット宝くじシステム】が現在のジャンボ宝くじのシステムと比較して、楽しみいっぱいのものになるかを、理解していただきたいと思います。

### 《システム概説》

総則：このユニット宝くじシステムは、これまでの（【100×10=1000 枠 (=1 シート) 別称シート宝くじ】）という当社（株）日本公益宝くじ促進支援協会・宝くじ王国のシステムの完全進化型です。

つまり、宝くじの究極の確率を考えたとき、そのシステムのベースは、その究極のところでは、1等を得るのに必要な枚数、つまり、1等は何枚に1枚の確率で入っているのか？ということになります。これを私たちは宝くじの**絶対当選相対数**といいます。当然この中には、1等から6・7（末等）まであり、次の確率に沿っているのです。

#### 〔参照資料No1〕

#### 【宝くじ王国の《ユニット宝くじシステム》

（分配確率と分配金）2023年年末ジャンボ基準

\*まずは現在の等級と当選金、およびその受益者数を下にご覧ください。

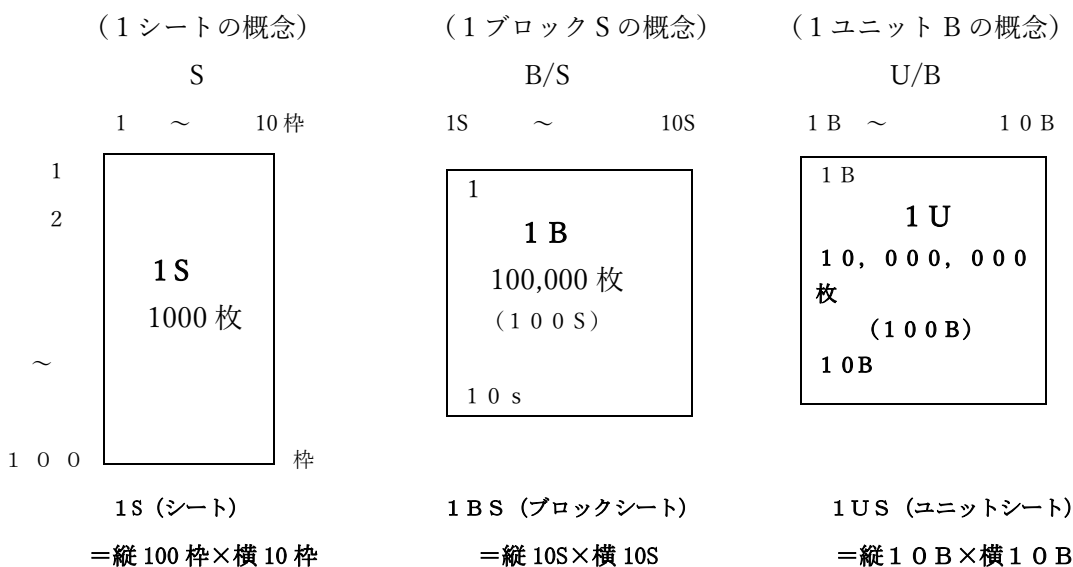
当選確率（何枚買うと1枚当たる？）	配当金	受益者数
1等=2000万分の1	7億円	1
1等の前後賞=1000万分の1	1.5億円	2
1等の組違い賞=10万分の1	10万円	200
2等=1000万分の4	1000万円	8
3等=10万分の2	100万円	400
4等=10,000分の1	5万円	2000
5等=1000分の1	1万	20,000 ↑ <u>(22611) A</u>
6等=100分の1	3000円	200,000 (費用対効果倍額以上↑)
7等=10分の1	300円	2,000,000
		ΣΣ = <u>2,222,611</u>

#### 本システム【ユニット宝くじ王国システムの概要】

本システムではそのビジネスモデルの骨格を次のように定めます。

- 1) 本システムでは、(枠=宝くじ一枚の挿入枠) 縦 100 枠×横 10 枠の宝くじ枠の集合を 1 シートと規定します。
  - 2) また、この時、当該シートの左端の縦枠 100 枠をそれぞれ縦枠の上から、1, 2, 3,..., 100 と、ナンバリングし、この左端縦枠 1~100 枠を左端枠といいます。
  - 3) この左端枠の上から、1, 2, 3 と縦に伸びる枠を左端枠 1 番、左端枠 2 番、左端枠 3 番といいます。以下同様。
  - 4) また、その縦枠 (左端枠) のそれぞれのナンバーを頭に今度は横に当該左端枠を頭 (=1 番として) にして横に 10 枠伸びる横枠を左端枠 1~100 にそれぞれ形成して、総数 100×10 枠=1000 枠を 1 単位としたシートを形成します。(=1 シートの形成)
  - 5) その 1 シート単位を今度はさらに、縦 10 シート×横 10 シートに集合形成して、一つの大きな二次的な集合体を形成し、これを当王国では 1 ブロックと呼称します。したがって、これまでの総数は 1 シート (1000 枚) × (10×10) =100,000 枠となります。
  - 6) 更に、この、ブロックを縦 10×横 10 の 3 次的な集合体を形成します。つまり、1 ブロック 100,000 枠であるからこの時の総数は、  
1 ブロック 100,000× (10×10) =10,000,000 枠となるのです。  
この時、宝くじ枠の総数は、10,000,000 宝くじ枠となり、全体として大集合体を形成することになります。これを私どもは、\*1 ユニット宝くじ枠 (=1 千万枚) と規定します。
- \*:ただし、年末ジャンボ宝くじに関しては、その倍の 2 千万枚が 1 ユニットと規定されています。そして、この年末ジャンボだけは、以下の分配システムを踏襲してユニット 2 つで年末ジャンボに対応することとし分配したいは同様の分配システムとしています。

【参照資料N o 2】



= 【1000 枠】

= 【100 S】

= 【100 B】

\* : 1等当選時の表示例 : 第10ユニットのユニット内ブロック3/5, ブロック内シート番号7/3、  
シート内枠番号55/5が当選。コード化すると、  
⇒ ( 【10】 - 3/5 - 7/3 - 55/5 )

### 『宝くじ王国の《ユニット宝くじシステム》の当選金分配方法』

【参照資料 No 3】

(例 : 2023年 年末ジャンボ宝くじ の場合)

《当選金分配方法 (共益者数と各人の分配金) 》

《一等賞金 = 7億円》 ×  $\boxed{1}$  ⇒ (既存システム受益者総数)

(宝くじ王国の分配システム) (黄色=既存の宝くじ当選金と受益者の数) (青=宝くじ王国のシステムによる等級  
毎の分配金と受益者数の合計員数) \* : その他、使金の倍額以上の収益者数格差1.6倍〜等も特とご覧ください!!

1 一等当人 = 7億円 × 30% = 【2.1億円】 1名

2 一等の出たシート全員 (1000名) = ×1等賞金の20% = 1億円 ÷ 1000名  
= 100,000,000 ÷ 1000 枠 = 【140,000円】 / 枠 (人) 1000名

3 同ブロック (シート違い当人) = 100名 × 10% = 70,000,000円 ÷ 100 枠  
= 【700,000円】 / 同ブロック各シート当人 100名

4 同ブロック (各シート前後賞) = 200名 × 10% = 70,000,000円 ÷ 100 枠 ÷ 2  
= 【350,000円】 / 同ブロック各シート前後賞 200名

5. 同ユニット内縦シート全員 (100 S × 1000人) × 10% = 7000万円 ÷ 100,000名  
= 【700円/人】 100,000名

6. 同ユニット内横シート全員 (100 S × 1000人) × 10% = 5000万円 ÷ 100,000名  
= 【700円/人】 100,000名

7. 隣でラッキー賞 (4名) × 10% = 70,000,000円 ÷ 4 = 【1750万円/人】 4名

一等 (本システム受益者数総数) ⇒ Σ = 201,305名

《一等の前後賞 = 1.5億円》 × 2枚 (下の分配人数は二倍になる) ×  $\boxed{2}$

1. 本人 1.5億円 × 30% = 【4500万円/人】 2名

2. 当人シート全員 × 20% = 30,000,000円 ÷ 1000名  
= 【30,000円/人】 × 2 2000名

3. 同ブロック (S違い当人) = 1.5億円 × 10% = 15,000,000円 ÷ 100名 × 2  
= 【150,000円/人】 200名

4. 同ブロック (各S前後賞) = 1億円 × 10% = (15,000,000円 ÷ 200名) × 2  
= **【75,000円/人】** 400名
5. ユニット縦シート全員 (100S × 1000人) = 1.5億円 × 10%  
= 15,000,000円 ÷ 100,000名 × 2 = **【150円/人】** 200,000名
6. ユニット横シート全員 (100S × 1000人) = 高額当選金 × 10%  
= 15,000,000円 ÷ 100,000名 × 2 = **【150円/人】** 200,000名
7. 隣でラッキー賞 (4名) = 高額当選金 × 10%  
= 15,000,000円 ÷ 4名 = **【375万円/人】** 8名
- $\Sigma =$  **402,610名**

◀一等の組違い賞=10万円▶ × **200**

1. **高額当選金 10万円** × 30% × 200枚 (倍) = **【3万円】** **200名**
2. 当選者シート全員 1000人 × 高額当選金 × 20% = **【20円/人】**  
1000名 × 200倍 = 200,000名
3. 同ブロック (S違い当人) = 高額当選金 × 10%  
= 10,000円 ÷ 100枠 = **【100円/人 + 100円 = 200円】** 100名 × 200倍 = 20,000名
4. 同ブロック (前後賞) = 高額当選金 × 10%  
= 10,000円 ÷ 200枠 = **【50円/人 + 50円 = 100円】** 200名 × 200倍 = 40,000名
5. ユニット縦枠全員 (100枠 × 1000名) × 10% = 10,000円 ÷ 100,000人 = 0.1円/人
6. ユニット横枠全員 (100枠 × 1000名) × 10% = 10,000円 ÷ 100,000人 = 0.1円/人
- 注記：配当が計算上10円未満の場合は当該配当を一つ上の分配公式に遡及する。  
この場合、No.5, No.6は、分配金10円未満であるから、その上の分配式に遡及
7. 4隣でラッキー賞 (高額当選金 × 10% = 10,000円 ÷ 4名)  
= 10,000円 ÷ 4名 = **【2500円/人】** = 800人
- $\Sigma =$  **261,000名**

◀二等=1000万円▶ × **8**

1. **高額当選金 1000万円** × 30% = **【300万円/人】** × 8 **8名**
2. 当人シート全員 1,000万円 × 20% = 2,000,000 ÷ 1000 × 8 = **【2000円/人】** 8,000名
3. 同ブロック (S違い当人) × 10% = 1,000,000円 ÷ 100名

- = 【10,000円/人】 × 8 800名
4. 同ブロック（前後賞） × 10% = 1,000,000円 ÷ 200名  
= 【5,000円/人】 × 8 1,600名
5. ユニット縦シート列全員 × 10% = 1,000,000円 ÷ (100枠 × 1000人)  
= 1,000,000円 ÷ 100,000人 = 【10円/人】 × 8 800,000名
6. ユニット横シート列全員 × 10% = 1,000,000円 ÷ (100枠 × 1000人)  
= 1,000,000円 ÷ 100,000人 = 【10円/人】 × 8 800,000名
7. 4隣でラッキー賞 × 10% ÷ 4名 = 1,000,000円 ÷ 4名  
= 【250,000円/人】 × 8 32名
- Σ = 1,610,440名

≪ 3等 = 100万円 ≫ × 400

1. 高額当選金 100万円 × 30% = 【300,000円/人】 × 400 400名
2. 当人シート全員 (100万円 × 20% = 200,000円 ÷ 1000名)  
= 【200円/1000人】 × 400 400,000名
3. 同ブロック (S違い当人) × 10% = 100,000円 ÷ 100名  
= 1,000円/人 + 1,000円 = 【2,000円/100人】 × 400 40,000名
4. 同ブロック (S違い前後賞) × 10% = 100,000円 ÷ 200名 = 500円/人 + 500円/人  
= 【1,000円/200人】 × 400 80,000名
5. ユニット縦シート全員 × 10% = 100,000円 ÷ (100枠 × 1000人)  
= 【1円/人】 100,000人 × 400 = (40,000,000名)
6. 横シート全員 (枠違い当人) × 10% = 100,000円 ÷ 100,000人  
= 【1円/人】 100,000人 × 33 = (40,000,000名)
- \* : 配当金が10円未満の場合はその上の分配式に遡及する。
7. 4隣でラッキー賞高額当選金 × 10% = 100,000円 ÷ 4名  
= 【2.5万円/4人】 × 400 1,600名
- Σ = 522,000名

注記：配当10円未満遡及分配にかんして、遡及等級が2件以上あるとき（今回は5等、6等）は、遡及等級も平行に移動して、5等級は3等級、6等級は4等級へと平行移動することとする。

≪ 4等 = 5万円 ≫ × 2,000

1. 当選金 5万円 × 30% = 【15,000円/人】 × 2,000 2000名
  2. 当人シート全員 (50,000円 × 20% = 10,000円 ÷ 1,000人)  
= 【10円/1,000人】 × 2,000 2,000,000名
  3. 同ブロック (S違い当人) × 10% = (5,000円 + 5,000円) ÷ 100  
= 【100円/100人】 × 2,000 200,000名
  4. 同ブロック (S違い前後賞当人) × 10% = (5000円 + 5,000円) ÷ 200  
= 【50円/200人】 × 2000 400,000名
  5. ユニット縦シート全員 × 10% = 5,000円 ÷ 100,000  
= 【0.05円/人】 (10円未満遡及 → 4 → 3)
  6. 横シート全員 × 10% = 5000円 ÷ 100,000  
= 【0.05円/人】 (10円未満遡及 → 5 → 4)
- \* : 当配が10円未満の場合はその上の分配式に遡及する。
7. 隣でラッキー賞高額当選金 × 10% = 5000円 ÷ 4  
= 【1250円/4人】 × 2,000 8000名

Σ = 2,608,200名

≪ 5等 = 1万円 ≫ × 20,000

1. 当選金 1万円 × 30% = 【3000円 + 2,000円 (2) + 1,000円 (4) + 1,000円 (5)】  
= 【7,000円/人】 20,000名
2. 当人シート全員 (1000人) × 20% = 2000円 ÷ 1000名  
= 【2円/人】 (10円未満遡及 → 1) (遡及消滅)
3. 同ブロック (別S枠当人) × 10% = 1000円 ÷ 100名  
= 【10円/人 + 10円 (6分) = 20円】  
100 × 20,000枚 = 2,000,000名
4. 同ブロック前後賞 (200枠) × 10% = 1000円 ÷ 200名  
= 【5円/人】 (10円未満遡及 → 1)
5. ユニット縦枠全員 (100枠 × 1000人 = 100,000人) × 10%  
= 1000円 ÷ 100,000名 = 0.01円 (10円未満遡及 → 2 → 1)
6. 横枠全員 (100枠 × 1000 = 100,000人) × 10%  
= 1000円 ÷ 100,000名 = 0.01円 (10円未満遡及 → 3)



7. 4隣でラッキー賞 (当選枠の上下左右) × 10% = 1000円 ÷ 4名  
 = 【250円/人】 4名 × 20,000枚

80,000名  
 $\Sigma = 2,100,000$ 名

≪ 6等 = 【3000円/人】 ≫ × 200,000枚

200,000名

この5等に関しては、分割分配することがほぼ不可能であるので、分割分配せずその当選枠にそのままの賞金を分配するものとする。

$\Sigma = 200,000$ 名

\* ≪ 7等 = 【300円/人】 ≫ × 2,000,000枚

2,000,000名

\* 300円 × 50% = 【150円/人】 × 2,000,000枚

$\Sigma = 2,000,000$ 名

\* 当該、末等はその半部を、国際福利基金として別紙説明の通りの国内・外福利基金として活用させていただきます。

ユニット宝くじ受益者総数  $\Sigma \Sigma = (1等) + (1等の前後賞) + (1等の組違い賞) + 2等 + 3等 + 4等 + 5等 + 6等 + 7等 = (201,305名) + (402,610名) + (1,610,440名) + (522,000名) + (2,608,200名) + (2,100,000名) + (200,000名) + (2,000,000名) = 9,707,355名$

【参照資料No4】

≪ 1P = 1円 ≫

宝くじ王国≪ユニット宝くじシステム≫参加者の全(分配金)と金額別受益者数(2023、年末ジャンボ基準時)

≪ユニット宝くじシステムの分配金と受益者数≫

等級	分配金	(受益者数)	(ユニット宝くじシステム × 既存宝くじの分配比)
1等)	2億1千万P	1名	↓
2等)	4500万P	2名	(黒ユニット宝くじ：赤色既存宝くじ)
3等)	1750万P	4名	
4等)	375万P	8名	
5等)	300万P	8名	(300万円以上 = (23名) : (11名))

6等) 70万P	100名	対既存倍率= << 2倍以上 >>
7等) 35万P	200名	
8等) 30万P	400名	
9等) 25万P	32名	(10万円以上~100万円= (1,932名) : (600名))
10等) 15万P	200名	対既存倍率= << 3倍以上 >>
11等) 14万P	1,000名	
12等) 7.5万P	400名	
13等) 3万P	2,200名	既存宝くじは
14等) 2.5万P	1,600名	1万円のみ↓
15等) 1.5万P	2,000名	(5000円以上~10万円未満= (28,600名) : (22,000名))
16等) 1万P	800名	<<約1.3>>
17等) 7,000P	20,000名	
18等) 5,000P	1,600名 ↑	
19等) 3,000P	200,000名	
20等) 2,500P	800名	(700円以上~3,000円以下= (536,800 : 200,000名))
21等) 2,000P	48,000名	<<約2.7倍>>
22等) 1,250P	8,000名	
23等) 1,000P	80,000名	使金倍額以上の受益者数比 <367,355 : 22,611名>
24等) 700P	200,000名 ↑	<<約16倍強>>
25等) 250P	80,000名	
26等) 200P	420,000名	=費用対効果① : ② = 既存宝くじの 600倍!
27等) 150P	2,400,000名	
28等) 100P	240,000名	①既存宝くじ3000円=10枚
29等) 50P	400,000名	②ユニット宝くじS (500円/枚=1000枚) ⇒?
30等) 20P	2,000,000名	(*同額使金当選受益確率比=10枚 : 6000枚)
31等) 10P	3,600,000名	

$\Sigma \Sigma = 9,707,355$ 名 = 単純(配当)当選確率倍数 = 既存の <<約4.4倍>>

\*上記ご覧いただいたように、本システムでは既存宝くじの最低当選確率 1/10 (10枚に1枚) が、約 1/2 (2枚に1枚) となっています。

また、

A : 【費用対効果に置き換えると】 = 既存宝くじが使金倍額以上の配当受益者の総

数が、【22, 611名】なのに対し、当ユニット宝くじシステムでは、その【約16倍強の367, 355人】となっております。

本システムはご覧のように既存の宝くじと比べると格段に収益の面でも楽しみ

の面でも驚くべき数字をたたき出していることをご確認いただける筈です。

【結論】 <受益者の数がこれだけ違う！！=驚きの格差！！>

【既存システム受益倍額以上の総数】：【本システム受益倍額以上の総数】

= 22, 611人：367, 355人 **なんと！16倍強（これだけの差！）**

(参照資料No-1)：(参照資料No-3)

注記：皆様は、上の現実的な視点(=数字)を見て初めて、これまでの宝くじシステムが如何に【**当たらない=つまらない**】だったのか？その理由を視覚的にとらえていただくことができるのです。

<社会は一人のために、一人は社会のために！>

をまさに、実体験していただけるのが本システムである。と、私どもは胸を張っております。

## 諸機能要望書

### 1) 宝くじ分配システム

- ① 上記基本分配システムに沿った自動分配機能
- ② 一シート縦100枠、横10枠からなるシートに左端枠に宝くじ番号を入力するとその行の10枠がすべて連番で残りの9枠に自動記載される機能
- ③ 管理画面で、宝くじの当たりを等級ごとに入力すると、その当選番号のある枠が赤色で表示され、当選金額の30%が当該当選枠の中に賞金として表示される機能。

<<1>> 【一等賞金の処理】

- ④ ユニットシステムでは一シート(縦100枠×横10枠のシート)が今度は(縦10シート横10シート)との集合体として1ブロックシートを形成し、さらにこの1ブロックシートを(縦10ブロック、横10ブロック)の集合体として1ユニットシートを最終構成しています。したがって、当該システムは基本的な3つの集合体か

ら構成されることとなります。上記分配構成表の通り、このユニットの中のどれかのシートに一等が出ると、その本人は一等賞金の30%を得ます。

≪2≫ 【一等当選同シートメリット】

- ⑤ 一等当選の出たシートの一等当選者を含めた1000人は幸運な人たちであり、そのおすそ分けを当選者本人を含めて大いに喜んでいただく。その分配金の対象金額は賞金の20%とする。つまり、当選金の20%をそのシートにいる全員(=当選者本人を含めて1000人)で分配します。

≪3≫ 【一等当選同ブロック内各シート同位分配金】

- ⑥ その一等当選者が出たシートと同じブロックシート内の100シートの当選枠同位の100枠に一等の賞金の10%を等分配します。つまり、  
一等賞金×10%÷100枠= (同ブロック内一等シート違い賞分配金)  
となります。

≪4≫ 【一等当選同枠前後賞同ブロック内シート分配金】

- ⑦ また、それと同じように、当該一等当選ブロックの全シート100シートのそれぞれのシートの一等当選者の前後枠と同じ枠番の(100×2)枠は同ブロック前後賞となります。この時、  
一等賞金×10%÷100枠×2=200枠= (同ブロックシート前後賞分配)

≪5≫ 【一等当選同シート縦列全員分配金】

- ⑧ また、一等当選金が出たシートと同じユニットシートの縦列のシート100シートの全員、つまり、100シート×1シート(1000人)=100,000人に、一等当選金×10%を当該100枠の1000人ずつで分配します。  
総数100,000人

≪6≫ 【一等当選同枠横列全員分配金】

- ⑨ また、上記≪5≫と同様に、一等当選金が出たシートの横並びの100シート(一等の出たシートを含む)のすべての人々、つまり、  
100シート×1シート(1000人)=100,000人に、一等の賞金の10%を等分配する。

≪7≫ 【4隣でラッキー賞】

- ⑩ また、最後に一等(または、その他の当選金、第4等=10,000円まで)の賞金の10%を当選金の枠の四隅を構成する位置にある枠(4枠)で等分配する。

【枠廻り効果及び例外事項及び基金について】

当該、コンセプトは次のように機能させる。

- 1) 上記、分配ルール<1>~<7>に従って、計算した時に、【10円未満】が、次の等級について、賞金の額が決まっているため発生する。従って、その当初よりルールの第<何番>が10円未満になるか分かっているため、初めからその<10円未満の分配ルール番号と遡及先ルール番を以下の通り決めておく。

(10円未満分配ルール番号) (遡及先ルール番号)

	↓		↓	
① 1等の組違い賞 (10万円)	=	<5>	⇒	<3>
		<6>	⇒	<4>
<hr/>				
② 3等 (100万円)	=	<5>	⇒	<3>
		<6>	⇒	<4>
<hr/>				
③ 4等 (5万円)	=	<5>	⇒	<3>
		<6>	⇒	<4>
<hr/>				
④ 5等 (1万円)	=	<2>	⇒	<1>
		<4>	⇒	<1>
		<5>	⇒	<1>
		<6>	⇒	<3>

\* : 上記の通り、10円未満となる分配金は、その分配金を遡及先へ加算して当該遡及先の本来の分配金と合算して、1名当たりの分配金を算出するものとする。

- 2) ただし、6等の3000円については、例外的に遡及計算を行わず、そのままの等級賞金として、当選者に分配する。
- 3) また、末等の300円については、その50%を本会の設立骨子である国際社会貢献のための基金の原資として、本会の社会事業実践部隊である、一般社団法人国際市民・文化支援事業団の国際基金（【宝くじ王国基金】）に寄付されるものとし、世界中の人類社会環境等の事業に幅広く活用されるものとする。また、この実践事業についてはすべて公開する。

### 【ユニット未達時の特別処理条項】

上記分配方法は、ユニット宝くじシステムを構成するすべてのユニットシート枠が埋まった、つまり、1000万（年末ジャンボは2000万枚をベースとする）枠が埋まった状態を仮定して、その計算結果を表示したものです。しかし、正会員の場合と異なり、実際には、このように当初から1000万枚又は2000万枚枠がきっちり収まることは、なかなか難しいと考えられます。

それは、その枠数をはじめから埋まるように計画されている正会員制度とは異なるポイント

制度や随時カード購入制を伴った参加形態によります。（\*ただし、当会が全国的に周知され、その驚異的な効果が認識されたなら、あたかも超アイドルの講演チケットを購入するのが難しいようなそれこそ我先にとのラッシュ状態になると予想しております。したがって、始動期の未達状況はご理解いただきたく、お願い申し上げます。）

従って、本ユニット宝くじシステムでは次のようなユニット未達時の分配方式を用意しております。

### 【ユニット宝くじシステム、ユニット未達時の当選金分配規定】

上記通常の分配方式<<1>>~<<7>>において、その数が、規定数に満たない時は、その分配公式は同様に、分母のみがその時の参加者数の実数に変更される。

例：分配式<<2>>の当選枠同シート全員分配公式の場合

この場合、もし当選枠の同シートに350宝くじ枠（人）しか埋まっていなかった場合は、分母が1000宝くじ枠（人）から350枠（人）となるだけです。

<<未達公式-B>> = 当選金の20% ÷ シート実枠（350枠人）

この時、当選金5億円、分配対象金額は20%の1億円であるので、

<<通常公式-A>>

$100,000,000 \div 1000 = \underline{100,000}$ 円/人、.....、通常分配金/人

<<未達公式-B>>

$100,000,000 \div 350 = \underline{285,714.}$ （286円）/人、、未達実数分配金/人

\*：この時、小数点以下（ ）内は切り捨てとする。

以上の通りユニット定数未達時の分配公式は分母を実数に変更して、それ以外は通常公式通りに計算して、当該実数構成者で、等分分配することとします。

従って、これまで通常分配公式では「一等の組違い賞」や「4等」の<<5>><<6>>分配公式では10円未満になってしまい、枠遡及効果を実施していた箇所でも、当該<<未達公式-B>>により、分配金が跳ね上がって、実数者に大きな分配金が付与されることが大いに考えられます。以上が分配定数未達時の特別未達分配公式です。

### 【宝くじの購入方法「宝クーポンU/Tポイントカード」AB・D×3タイプ】

1. 【Aタイプ】 = 還元ポイント蓄積型+チャージ型宝クーポンポイントカード
2. 【Bタイプ】 = 随時購入型「通年宝クーポンカード」（5000円、1万円、2万円、3万円、5万円）\*：どの時点で買っても、次回から5回分のジャンボが金額による枚数分均等買いされるカードです。

3. 【Cタイプ】 = 随時（ネット）購入会員【レディーゴー購入システム】  
 4. 【Dタイプ】 = ユニット宝くじ完結システム【正会員制（100%）】×3タイプ  
 \*：年末・次年度宝くじ予約購入正会員（ユニット・宝くじ枠確保）

≪詳細説明≫

1. 【Aタイプ】ポイント蓄積型自動購入

とは、「(株)日本公益宝くじ促進支援協会・宝くじ王国」が発行するポイントカードの加盟店がその顧客に対して提供するカードに関して、その顧客が全国の宝クーポン（ポイント）カードの加盟店で消費価格の一定の割合で付されるポイントを貯め、そのポイントが500ポイント（=1ポイント＝1円換算）に達した時点で当該会員は、その時点での締め切り前【\*＝期毎のジャンボ宝くじの締め切り日は本会が予め決定して発表します】ジャンボ宝くじを本協会が主催する国際社会貢献型ユニット宝くじシステムに参加する権利を得、当該会員のポイントは以下の通り処理されます。

- 1) この場合、500ポイント蓄積された時点で、その時点での\*直前ジャンボ宝くじが自動購入され、本人にその「枠詳細」が電子送信されます。
- 2) ただし、実際には当該宝くじはジャンボ宝くじの発売日締め切りの一定期間前に一括購入されるものとします。したがって、当初の電子伝達情報は、①購入された宝くじ番号  
 ② その宝くじがユニット宝くじ枠のどこに位置するかを知らしめる「枠番号特定コード」＝「(ユニット番号) - (ユニット内ブロック番号) - (ブロック内シート番号) - (シート番号内枠番号)」の順で表示されます。（詳細は[こちら](#)）

【表示例】：当該、表示例は以下の通りとします。

【ユニット番号10】 - ユニット内ブロック番号（縦列3・横列5） - ブロック内シート番号（縦枠7・横枠3） - シート内枠番号（縦列55・横列5）

この場合の会員様宝くじ検索番号は＝（【10】 - 3/5 - 7/3 - 55/5）

の通り表示されます。 (ユニット番号) (ブロック位置) (シート位置) (枠位置)

- 3) したがって、ポイントカード所有者は、当該枠番号に従って、本協会が宝くじを購入して購入者のユニット宝くじ枠に宝くじ番号を実際に貼付した時点でその事実を電子メール送信されるものとし、この通知を自らパソコンまたはスマホ等で、その通知されている「検索番号」を会員ログインして、手順に従って確認していただきます。（\*システムトラブル時を避けるため毎期の自己チェック推奨！）

\*：また、シート番号とは、そのユニット番号に当たるシートの中のどの枠番に当たるかを細分指示しています。つまり、宝くじ王国のシートは縦100枠、横10枠から構成されているため、その当選者または会員様の宝くじがどこにあるかを確認する必要に迫られ

るため、縦枠と横枠でその位置を特定するものです。又、当ユニット宝くじシステムでは、「ユニット ID 番号 (X) - ユニット内 B 番号 - ブロック内 S 番号 - シート内枠番号」の順で構成されています。また、ユニット自体が複数枚になった場合は、上のように - 【 】 内にアラビア数字を付してユニット番号を表示します。

\* : 宝くじ番号の貼付後は、「ご自身の宝くじ番号」を入力すると自動的にそのシート及びご自身の宝くじ枠が表示されるようにシステム化されております。入力窓口 [こちら](#)

#### 1. 【Aタイプのもう一つの特徴】ポイントカードチャージ型購入

ポイントカードチャージ型購入とは、ポイントを加盟店の消費の還元サービスとして貯めるだけでなく、自ら、本システムを通して、宝くじ王国のユニットシステムに参加したい場合に、お近くの本ポイントカード【宝クーポン U/ T ポイントカード】加盟店またはコンビニエンスストア等で、現金チャージすることで、当宝くじ王国の指定する日限 (= 近々のジャンボ宝くじ毎に宝くじ王国が指定する日) を締め切り日として、近々回のジャンボ宝くじをご購入いただけるシステムです。

例 1 : 本ユニット宝くじ一枚につき 500 円のチャージ。

二枚 = 1000 円

三枚 = 1500 円

例 2 : その他、ポイントで貯めたポイントが最小購入ポイント (500 ポイント) に達しない場合、例えば 100 ポイント足りないときは、100 円をチャージすることで当該最小ポイントに達し、近々のジャンボ宝くじ王国のユニット宝くじに参加できるようになります。

\* : 当該 A タイプの「宝くじポイントカード + チャージ型」は、当初ポイントカード取得時に自身の必要情報を登録すると、その後、上記のとおり、ポイント還元と任意チャージの両方で、そのつどの状況に応じて臨機応変に近々のジャンボ宝くじからその現在購入可能額 (一単位 = 500 ポイントの倍数を基底として) 自動購入いたします。当初の ID 情報はお店又はご自身の PC 又はスマホから案内に従って入力をお願いします!

注記 1 : ただし、当該ポイントカードは正会員ポイントカードと異なり、ユニット宝くじの完成形【参照資料 No2】を確実に保証するものではありません。あくまでも、ユニット宝くじの分配システムを踏襲しますが、完全に当該ユニットシステムが、完成されていない場合【ユニット未達時の特別条項】に従った処理がなされますことを予めご了承ください。

≪自動購入システムのメリット≫ :

宝くじ王国のユニット宝くじシステムによる宝くじポイントカードの特徴は、上記説明のとおり蓄積されたポイントが 500 ポイント以上たまると、自動的にその時点で近々のジャンボ宝くじを購入するシステムとなっていることです。

従って、次のような失敗は存在しないことになります。



1) ジャンボ宝くじ(または一般宝くじ)を買い忘れた。

2) ポイント使わず、ポイント使用期限が過ぎてポイントが失効してしまった。

\* : 各ジャンボ宝くじに関して、その時々ジャンボ抽選日前に設定された日限にてその時点での各会員のチャージされているポイント及び金額により、近々の有効ジャンボ宝くじを自動購入して、本人に電子メールで通知されます。

したがって、このシステムですと、銀行のダイレクト送金もクレジット払いも不要、面倒な手続きは一切なしで、上記説明の通り、これまでの約600倍以上の費用対効(【参照資料No4】)の配当確率で宝くじを大いに楽しんでいただけます。

## 2. 【Bタイプ】宝クーポン年間随時購入型カード(期間不指定、いつでも購入可)

### 1) 5000円カード

当該プリチャージ型ポイントカードは、毎回のチャージが面倒だ、毎回のジャンボを2シート分、つまり500ポイント×2=1000ポイント(円)使い、年間5回あるジャンボに参加したいという定期購入者に向けたポイントカードです。

例：例えば、毎回2シート分購入したい人は年間、5千円をチャージしておくだけで済みます。実際には5000円の宝くじ王国の販売する「ユニット宝くじシステム宝クーポンカード」を加盟店またはコンビニ等で購入していただきます。

この購入会員は、この宝クーポンポイントカードにより、購入日以降の近々のジャンボ宝くじから、延べ5回分までの毎回のジャンボ宝くじを2シート、つまり、受益当選確率枚数として2000枚ずつ自動的に購入することができることとなります。

≪当該、システムを大道さんのところと連動して、システム化していただきたいと考えます。≫、

### 2) 10,000円カード

当然この場合は、毎回4シート=4000枚分(=受益当選確率枚数)のユニット宝くじシステムに参加したいという会員様は、1万円の宝くじクーポンカード【Bタイプ】をご購入いただくだけで済みます。

3) 3万円カード=毎回、12,000枚分=12シート×5回(同上60,000枚)

4) 5万円カード=毎回、20,000枚分=20シート×5回(同上100,000枚)

となります。

\* : 当該カード【Bタイプの特徴】は、ご購入時にすでに購入金額だけのユニットジャンボ宝くじの近々ジャンボ宝くじに参加する権利を得て、自動的に近々のジャンボ宝くじから、本会の規定に準じて次回、次々回、と延べ5回分を均等参加することとなります。また、そのほかに、当該カードを次の年でも継続して使いたい場合はそのカードの規定金額をチャージするだけで、同様に年間使えるようになることが、本B型宝クーポンポイントカードの特徴となります。

\* : 当然、金額を差し替えたい場合は、既存のカードは終了後不使用とし、例えば3万

円のカードを新たにご購入いただければ、毎回、12シートに振り分けて（＝確率換算12000枚）1枚ずつのジャンボ宝くじを当宝くじ王国の規約に準じて延べ数にして5回分ユニット宝くじシステムに準じた分配方式により参加することができることとなります。

\*：また、当随時購入型のBタイプカードは、カード番号及び、会員様の基本情報を登録するだけで、一年間のジャンボ宝くじの定期購入が可能となり、当選金の管理から、各種インフォメーションの取得、送付等々の基本情報ツールとなります。更に、当該カードを登録後紛失しても、当初登録時の権利は保護されます。

注記2：本Bタイプについても、注記1のとおりです。ご注意ください。

### 3. 【Cタイプ】《参加要領＝随時参加会員（よ～いドンネット会員）》

入会后、本部の指定する金融機関の口座からアプリ内で入出金できる機能を活用。

又は、クレジット

- 1) 当タイプの随意会員は、1口から任意の口数申し込めますが、タイトルのごとく購入者が殺到する状態が予想され、自分の欲しい枠を取るが大変な場合が多々予想されます。
- 2) 従って、随意会員様は、戦略を立てて自分の好きな枠を次期ジャンボ宝くじに関して当期のジャンボ抽選の終了後直後に開示される「ユニット宝くじ王国＝第XXX回」宝くじのユニットシートに投票することをお勧めします。

#### 【随意会員のネット駆け込みユニット投票制度】

これは、例外的なメリットですが、仮にあるユニットが未完成な場合、当該空枠に正会員以外の「一般会員であっても一枠400円で参加できる」【空枠投票メリット制度】です。

宝くじ発売期間の終了日の1週間前から5日間（最終日の二日前まで）の間に空きスペースに投票できます。この場合は、（枠指定＋未指定）の両方で申し込むこととし、指定枠が取れない場合は会に一任されることとなります。

\*：ユニット宝くじには上記の通りの定数があり、埋まり次第締め切られます。

それ故、〔よ～いドン！ユニット宝くじ〕と別称されます。

#### 【参加方法】

1. 宝くじ王国のアプリをダウンロード
2. 随時参加会員登録の詳細を精読後同意をクリック
3. 必要事項を記載
4. メールアドレス
5. パスワードを登録して仮ID登録送信
6. 本部より（仮ID

## 7. 以下同じ

### 《参加具体例》

#### 【取得枠指示型】

1口から投票可

枠が開いていれば、画面から自分の好きな場所（ブロック枠、シート枠）にも参加できる。

一口の参加権は500円。\*：ただし、駆け込み制度時（期間）上記は400円。

ユニットに余裕がある場合は、自らの戦略に則って、空き枠を見つけその目標枠に投票することができる。ただし、駆け込み制度利用時は、未指定型を自動併用するものとします。

#### 【取得枠未指定型】

当初より指示枠を指定せず、購入枠数のみを記入して後は本部にお任せ。

【**随時参加フリー会員**】は、アプリを活用して会員登録時に随時会員を指定し、登録事項を記載送信、入会金、年会費無料。一年間当会が指定する投票期間中の好きなタイミングでジャンボ宝くじを一口500円にて、いつでも好きなジャンボ宝くじに参加することができるシステムです。しかし、正会員のように必ず参加できるわけではなく、その都度のタイミングにより販売枠が埋まってしまうことが危惧されるシステムでもあります。

\*：従って、毎回のジャンボ宝くじを安心して楽しみたい方は、是非はじめから正会員に登録（登録時期に制限あり！=下の【Dタイプ】をご覧ください）して年会費2500円～2万円（=5回のユニット宝くじ参加費用込み）を支払って参加することをお勧めいたします。

\*：（毎年年末12月初日より申込開始、25日締め切り=売り切れ前に申込）

## 4. 【Dタイプ】正会員制度とは？

第三の宝くじ購入システム=《宝くじ王国のユニット宝くじ購入システム》

毎回、必ず1等を王国会員でゲットして、約16倍の収益倍額以上効果

を体現してみませんか？

\*：参加会員で毎回必ず1等前後賞をその他のすべての賞金を丸ごとゲットし、それらをこのユニット宝くじの最高に楽しい分配方式でエキサイティングに分ち合う。

【既存の宝くじの約600倍以上の当選金分配確率】で、皆様に本当に楽しんでいただきながら【世界人類に貢献できる】、これまで夢のまた夢と考えられていたシステムが始まるのです。（=【参照資料No3、4】）

## 《特徴》

基本的な考え方

### 【完全会員制＝正会員】

#### 1. 【完全会員制＝正会員制度とは？】

この制度は、1ユニット（1000万枚を丸ごと全国の宝くじ愛好家（正会員のみ）で買い占めてしまうシステムです。つまり、このユニットが宝くじの一単位となり、この一単位の中に1等から7等（現在の宝くじシステムにおいて）までのすべての賞金が入っているのですから、それを確実にゲットしてしまおうおというこれまで考える人はいたが、到底不可能と思われたシステムを具現化するものです。（不可能は人がそれをやらないだけ！！＝成らぬは人の成さぬなりけり！）と云うことです。

\*：統計上、日本の潜在的宝くじ人口は3つに分けることができます。年間5回程度は4000万人、それ以上2000万人。そのうち【月1回以上宝くじを買うコアなファンが約1000万人程=A】います。（＝1000万人はユニット宝くじの候補可？）

【中結論】 このように、コアなファンは当然一枚ずつ買う人たちではないはず。少なくとも（10枚単位=1口）で購入すると考えるのが普通です。この時、その最小単位は【1ユニット1000万枚としたとき、10枚/人で割れば100万人=B】となります。つまり、この【Bの10倍は毎月一回以上買うコアな人達】です。

## 《ユニット宝くじを安心して楽しめる正会員制度》

### メリットてんこ盛りの正会員制度とは??

さて、上記の統計的な結論を踏まえて、次の完全会員制のシステムの話を下に進めさせていただきます。

#### 【正会員×3パターン】のご案内

1. 【**株主正会員**】であり、この株主正会員は当【ユニット del 宝くじ王国】のシステムを機能させるために、株式会社化して、当会を盤石な運営母体とする目的で、全国の賛同者の皆様にお声がけして、その立ち上げに参加された方々に与えられた呼称であり、多岐にわたるメリットを持つ会員様のことを言います。（別紙【ユニット del 宝くじ王国】にて詳述しています、仔細は**こちら**）
2. 【**年会費P型（プレミアム）正会員**】年会費（4000円×5回）＝2万円/年（＝**10枚×4000円×5回=P1口**）を支払うことにより、初めから向こう1年間のユニット宝くじの参加権を確保し、安心して【本ユニット宝くじの対使金倍額以上確率約16倍を年5回堪能したい皆様】に提供するシステムです。（＝お一人様、P10口まで）

【注記】（以下「年会費型一口正会員」も同義）

- 1) ただし、この正会員制度は、準株主正会員の性格を具備したものであり、その前段階

のユニット（1000万株）を構成するもので、当該目標達成時には新株予約権購入権を当該参加正会員に付与するものです。（資料「ユニット del 宝くじ王国」参照ください。）

2) また、当該正会員の申し込みは、年末までにその申込と払い込みを終えることを条権とします。そして、その実行期間は翌年のジャンボ宝くじ5回分とします。

\*：理由は、1000万株を確実に確保して、当該ユニット宝くじシステムを盤石なものにするためです。

\*：プレミアム正会員割引で1株（枚）400円×10シート【1シート=1000株×10S=10000株（枚）の当選確率】×年間5回=50000枚の当選受益確率を得る計算。

\*：50000枚の確率を一人で購入（取得）したい場合の金額

$50000 \text{ 枚} \times 300 \text{ 円} = 15,000,000 \text{ 円} (1500 \text{ 万円})$  必要。

3. 【年会費 S 型一口正会員】 = (一株500円×5回 = 2,500円/年) を支払って参加される会員様：その得点は、ユニット宝くじの参加枠を必ず確保できるメリットの存在です。(S=SHORT, SMALL=小口の意味です)

\*：こちらの正会員も、ユニット宝くじシステムの一口枠 (=1000株の中の1株を確保) して、通常の20万倍以上の分配確率を年間5回楽しめることになります。(=一般の宝くじ5000枚の当選確率=150万円分の確率に同じ。)

#### 【総括】

正会員の内株主正会員が最も得点にあふれていることはお分かりいただけたと思います。その次に、年会費型の二つの正会員があります。（これは株主正会員予備軍と言っても良いかもしれません=ユニット宝くじの高効率・娯楽性を堪能し）そして、毎年末月（12月中

に新規株主正会員の募集に応募する機会を得ていただく、そんな予備期間としてみてはいか

がでしょうか？そうやって徐々に、ユニット宝くじの株主正会員が増加すれば、当然地方地

自体の財源も2倍3倍と増加し、より良い自治が達成され、万民幸福につながるものと考え

ます。 (株主正会員になれば)

「費用対効果600倍以上」、「投下資金倍額以上獲得確率、既存の16倍以上」、「高額当選

金分配率20万倍以上」「単純当選確率4.4倍上」のなんとも豪快な本ユニット宝くじシ

ステムに配当を得ながら、ただで参加することができるのです。 (【参照資料 No3,4】)

## 【正会員のメリットおさらい】

正会員のメリットは、上記の通りで、

- 1) なんとといっても、ユニット買いのため、必ず1等から末等まで全部の当選金が入っている。つまり、ユニット宝くじの正会員の誰かが必ず1等、前後賞を手にし、また、その他の高額配当金を、本会の驚異の確率でその配当金にあずかることができる。
- 2) また、毎回必ずユニット宝くじ（ジャンボ）に自動参加できる、つまり、毎回のジャンボ宝くじのチャンスを逃すことはない。
- 3) さらに、一等当選金すら引き取りに来ない等の「買っぱなし、未確認等の放置事故」は決して起こりえない。

## 《参加要領＝正会員》

1. 宝くじ王国のアプリをダウンロード（[こちら](#)）こちらも早い者勝ち！
2. 参加規約を精読して、同意をクリック
3. 必要事項記載欄に必要事項を記載
4. パスワードを入力して仮ID登録
5. 本部より（仮ID番号）が指定メールアドレスに送信される。
6. 仮ID番号を使って初年度年会費をクレジット、送金等で支払うと、正会員番号が送付される。
7. 取引暗証番号（4桁）の登録を済ませると、正式に正規正会員登録完了
8. 次回からは、当該登録でいつでも入出金ができるようになります。

《ここが違う！他のグループ型宝くじ購入システム -

- と宝くじ王国の分配システム!!》

- 1) 一般のグループ購入（共同購入）の概念
- 2) 宝くじ王国の【プレミアム会員制ユニット宝くじ購入システム】

- 1) 一般のグループ購入の概念は、大きく分けて2つの方式があります。
  - ① 【均等買い、均等分配】 その一つは会社などで行う、お金を集めて例えば10人で3000円ずつ集めて3万円で、100枚の宝くじを買い、そのうち一枚が10万円の宝くじがあった。その10人で等分に割って、一人1万円ずつの配当金を得た。  
 $100,000 \div 10 \text{人} = 10,000 \text{円/人}$
  - ② 【非均等型等価分配方式】 グループ全体の出資金に対する自己出資金額に応じ

た当選金の分配を受けるシステム。

全体が5万円、そのうちA氏が、2万円を出したとき、100万円の当選金を得た、この場合、A氏の取り分は？

$$1,000,000 \times (2 \div 5) = 400,000 \text{ 円}$$

- 2) しかし、上記のこれまでの宝くじの分配方式は「少ないお金でも多くの人が集まれば多くの数の宝くじを買える」という単純明快なシステムであり、当たる確率は旧来通りです。【参照資料No-1】、それに、結局②にあるように、大きなお金を出せばその分の分配金が多くなるのは、例えば、大きな網で魚を捕るのと同じで、網が大きければその分魚をとらえる確率は上がりますが、費用対効果という視点で見ますと、実のところ、①とさほど変わらないのです。

【この驚異的な、当選金分配率格差（1等の場合【20万倍以上】）、

およびその費用対効果を、特と御覧じろ！！】（【参照資料No3】）

《宝くじ王国のユニット宝くじシステムの各種メリット＝（1枚たったの500円）で参加可！！》（＝以下分配例は1等のみの分配に関する例示です。）

- 1) **30%** 【当選者本人】＝【1枚】（＝既存宝くじの1等当選者はこの一名のみ！）
- 2) **20%** 【当選者同シートメリット】＝当選者本人の属するシート＝1000枚全員受益
- 3) **10%** 【当選者同ブロックメリット】高額当選者の出たシートを含むブロック内シート全ての同枚番全員受益＝全100シート＝100枚（当選者本人含む）
- 4) **10%** 【当選者同ブロック前後賞メリット】×100S（100枚×2）＝200枚
- 5) **10%** 【同ユニット内高額当選同位縦列シート全員メリット】×100S×1000枚＝100,000枚
- 6) **10%** 【同ユニット内高額当選同位横列シート全員メリット】×100S×1000枚＝100,000枚
- 7) **10%** 【高額当選者の4隅】＝4枚

【結論】＝本来1等は一人の受益であるわけですが、本宝くじシステムによればその受益当選者の数は $\Sigma$ ＝【201305枚倍】（＝1名：20万名＋ $\alpha$ ）となるのです。

【結論コメント】

既存の当選確率が【参照資料No-1】であるのに対して、この宝くじ王国のユニット宝くじシステムは【参照資料No-3】のごとく、たったの【一枚500円の参加金】で、その【(対使金倍額以上) 分配確率は既存宝くじの16倍以上になる】のです。

以上見てきたように、このシステムは、これまで夢でしかなかった1等から末等までの丸ごと買いという、壮大な夢を具現化した当該システム（ユニット宝くじシステム）に参

加したい、全国の宝くじ愛好家（否、もっと平たく、全国の宝くじに裏切られ続けてきた皆様と言った方が早いかもしれません？）に、本当に 1 等の夢を目の前で実現するために用意された、究極の宝くじの姿【垂涎の宝くじシステム】と言えるのです。

**自らも楽しみ、人類社会全体をよりよくする**、そんな【人類史上例を見ない公私ともど

も幸せにする“崇高にしてエキサイティングな宝くじシステム】が、ついに完成したのです！

皆様の振るってのご参加をお待ち申し上げております。

### 免責条項

機械やシステムのトラブル等で、当期の宝くじに遅延を生じた場合は、会員各位のポイントは保護され、次回の宝くじに順延対応いたします。また、地震、台風、その他の自然災害等の不可抗力条項による宝くじ本部の物的・機械的・PC システム的な損害等による遅延以外は、上記の通りの順延を以って対処いたします。

### おことわり

このシステムの中の加盟店による還元ポイント蓄積型カードは、当然その核となる加盟店が全国に普及する前には、会員様のポイント還元蓄積が相対的に少ないであろうことは否めません。しかし、本システムの需要は本文中の説明の通り確信しておりますし、また、統計学的なコアな宝くじファンが数千万人いることは、T ポイントや D ポイントのポイント加盟店が普及したのと同じように確実に普及するものとこれもまた確信しております。否、もっと具体的に言えば（【これらポイントカードの 1 ポイント = 1 円】と言う概念を大きく覆す = 【蓄積ポイントが数十万～億万円に化ける可能性】がジャンボ宝くじの場合毎年 5 回あるわけですから）、どう考えてもこちらのポイントを貯める方に遥かに人々の情熱が掻き立てられる筈です。

因って、この需要を見越した、全国のお店、各種事業者様が本会のポイントの加盟店になるメリットを察して雪崩を打って参加するものと想像します。

したがって、発会初期段階でのポイント加盟店の数による不具合につきましては、ご寛容賜りますようお願い申し上げます。運営サイドといたしましては、あっという間に日本中に普及すること間違いなしと楽観視しております。